

今月のトピックス

ホソヘリカメムシ類（マメ類）

学名：*Riptortus pedestris*（ホソヘリカメムシ）

R. linearis（キスジホソヘリカメムシ）

R. ryukyuensis（ヒメキスジホソヘリカメムシ）

2齢幼虫



5齢幼虫



ホソヘリカメムシ



ヒメキスジホソヘリカメムシ



キスジホソヘリカメムシ

生態と被害

一部画像は京都大学中嶋祐二氏提供

ホソヘリカメムシ類はカメムシ目ホソヘリカメムシ科に属しており、マメ類の害虫としては同属近縁種である上図の3種が知られている。体長はホソヘリとキスジは約13～17mm、ヒメキスジは約11～13mmと他の2種よりやや小型である。体色はいずれも黒褐色から赤褐色であり、ヒメキスジとキスジでは側面の黄色の縞が明瞭となるが、変異が大きいためこの点だけでは種の区別はできない。胸部の顆粒の有無や触角の第1～3節の色などが区別点となる。ホソヘリは日本全国、ヒメキスジは奄美大島以南、キスジは沖縄本島以南に分布しており、沖縄県では3種が混在している。また、これら3種の幼虫は天敵から身を守るためにアリに擬態していることが知られている。いずれの種も成幼虫がマメ類の莢を吸汁加害し、被害莢は落下したり種子が奇形となる。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>